



すごいぞ！柏プロジェクト！

2021年11月30日 第9号

お世話になった方とかぶのつけものパーティー！

11月26日（金）4時間目、体育館で「風早南部小3年生かぶのつけものパーティー」を行いました。命名は総合的な学習実行委員です。収穫の喜びをみんなで分かち合いたいという明るい気持ちが入められています。パーティーには、地元の農家の近藤さん、柏市役所農政課の上出さんと山崎さん、南柏のかぶ農家の木村さんがお客様として来校しました。

パーティーの内容も子どもたちが考えました。初めに活動報告として、これまでの栽培活動を日記形式で発表しました。「ありよりも小さかったかぶの種が、今日ここまで大きくなってびっくりした」「手づくり虫よけスプレーはとてもにおいがきつかった」など、エピソードを交えながらここまでの歩みを振り返りました。

そして、いよいよ試食です。一口食べると子どもたちはみんな笑顔でした。本当においしかったようです。中には野菜が苦手だったという子も、自分たちの作ったかぶを口に運んでいました。

お客様からは「本当においしかった。よく自分たちでここまで立派に育てたと思います。」「途中はだめかなあと思いましたが、よくここまでがんばりました。」「みなさんの愛情がこもっているんだなあと感じます。」と、たくさんの感想をいただきました。お世話になったみなさんに食べてほしいという子どもたちの願いが実現しました。

最後に、お礼の気持ちを込めて「かしわハッピー」の歌をプレゼントしました。総合のテーマが柏であることから、子どもたちが選曲しました。パーティーのあと、こんなすてきな歌があるんだと、お客様も歌声にとっても感動していました。

子どもたちの企画した「かぶのつけものパーティー」は大成功を収めました。



《子どもたちのふいかえいよい》

かぶを作っているときに、サポートしてくれた農家の人と市役所の人たちと一緒に食べられたことがものすごくうれしい思い出です。

お世話になった人たちに、みんなで育てたかぶを「おいしかった」と言ってもらえてうれしかった。

かぶは、おおぜいの人と食べたらおいしかった。かぶを作っていなかったら、近藤さんや上出さんにも会えなかったから、かぶを育ててよかった。食べてもらったのがうれしかった。

お世話になった人が来てくれてうれしかった。歌を歌うときは、うれしい気持ちになりました。

上出さんや山崎さん、木村さん、近藤さんをお招きできてうれしかったです。3年生でこんなにできるんだと思って、拍手したいぐらいになりました。

雑草だらけのところから草をいっぱい抜いて水やりもがんばったかいがあったなあと思いました。ふつうの野菜より10倍おいしかったので、また作りたいなあと思いました。やっぱり力を合わせれば何事もうまくいくんだ！と思って、がんばってよかったなあと思いました。